解　説

第 ９ 章 運輸・通信

鉄道の乗車人員数

全ての鉄道主要各社で増加

鉄道主要各社によると、令和4年の府内の駅の乗車人員数(1日平均)は、地下鉄(ニュートラム含む)は221万8,405人(前年比11万5,589人、5.5%増)、JR西日本は190万1,407 人(前年度比21万6,917人、12.9%増)、阪急電鉄は101万3,861 人(前年比2万3,892人、2.4%増)、南海電鉄は55万8,664人(同  
6万3,426人、12.8%増)、近鉄は54万5,253人(同2万9,370人、5.7％増)、京阪電鉄は43万3,317人

(同2万726人、5.0%増)、阪神電鉄は17万3,645人(同8,451人、5.1%増)です。



※近畿日本鉄道の乗車人員数調査は、平成28、29、31・令和元、2年は行われていません。

※凡例横の数字は、府内の駅の数です。

[第9章1～3表より]

主な鉄道会社の乗車人員数(府内駅・1日平均)

自動車保有車両数

総数はほぼ横ばい、低公害車は増加が続く

一般財団法人自動車検査登録情報協会によると、令和4年度の府内の自動車保有車両総数は354万7,923台(前年度比2,043台、0.1%減)です。このうち低公害車は61万2,815台(同4万5,149台、8.0%増)で、増加が続いています。



自動車保有車両数

空港旅客数

[第9章9、18表より]

国際線・国内線とも大幅に増加

関西エアポート株式会社によると、令和4年の関西国際空港の旅客数は、国際線は235万人 (前年比209万8千人、831.4%増)、国内線は559万人 (同277万5千人、98.6%増)で、それぞれ大幅に増加しました。

大阪国際空港の国内線の旅客数は1,152万8千人 (同475万8千人、70.3%増)で、大幅に増加しました。



空港旅客数

[第9章24表より]

情報通信機器保有率

スマートフォンは9割を越える

通信利用動向調査によると、令和4年の情報通信機器の世帯保有率は、モバイル端末(携帯電話、PHS及びスマートフォン)は98.2%(前年比0.5ポイント増)、スマートフォンは91.9%(同3.0ポイント増)、パソコンは68.0%(同4.4ポイント減)、固定電話は65.2%(同1.0ポイント減)、タブレット型端末は37.8%(同0.2ポイント減)です。



情報通信機器の世帯保有率

※ＰＨＳは、令和3年1月31日で個人向け提供は終了しています。

[第9章31表より]